

関西支部 2006 年度第 3 回例会のお知らせ

関西支部は 2006 年度第 3 回例会（近畿地区）を次の通り、海洋気象学会と共催で開催します。多数のご参加をお願いします。

日 時：2007 年 2 月 23 日（金）10:00～17:10

場 所：神戸大学瀧川記念学術交流会館
（神戸市灘区六甲台町 1-1）

発表時間：1 題 15 分（但し、*は発表者）

海洋気象学会理事長挨拶 内野 修（神戸海洋気象台）
セッション I（10:05～12:00）

- 1 「航空機搭載合成開口レーダ（Pi-SAR）による船舶及び海面の識別」
*山本浩史（神戸大学大学院自然科学研究科）、香西克俊（神戸大学海事科学部）、山田多津人（海上保安大学校）、伊藤陽介（鳴門教育大学）
- 2 「尾鷲湾のダム放水の拡散」
*小竹慶明、関根義彦（三重大学生物資源学部）
- 3 「大気海洋間における二酸化硫黄の乾性沈着測定」
*小林 賢（神戸大学大学院自然科学研究科）、平木隆年（兵庫県立健康環境科学研究センター）、石田廣史（神戸大学海事科学部）
- 4 「瀬戸内海・四国沖における CO₂ flux の測定—神戸大学練習船「深江丸」1994～2005 年研究航海—」
*山下栄次（岡山理科大学技術科学研究所）、武田麻里、沢田 健、沖野美和（岡山理科大学総合情報学部生物地球システム学科）
- 5 「強風時の白浜における運動量・熱・CO₂ フラックスの測定」
*水島彰宏、林 泰一、芹澤重厚（京都大学防災研究所）、杉原裕司、志賀 慧（九州大学総合理工学部）
- 6 「台風強風下における波浪の影響」
*宮本佳明、石川裕彦（京都大学防災研究所）

7 「海王丸海難を引き起こした台風の可航半円での強風の解析とその発生頻度に関する研究」

*藤井 勉（神戸大学大学院自然科学研究科）、大澤輝夫、石田廣史（神戸大学海事科学部）

----- 昼休み（12:00～13:30）-----

セッション II（13:30～15:10）

- 8 「2006 年 8 月 22 日の豊中豪雨」
*津口裕茂、上山仁司、三木吉雄（大阪管区気象台）
- 9 「2006 年梅雨期に行った京阪神地域で発生する線状降水帯の集中観測」
*東 邦昭、清原康友、荒木龍蔵（神戸大学大学院自然科学研究科）、山中大学（IORGC-JAMSTEC/神戸大学大学院自然科学研究科）
- 10 「那賀川流域の降雨特性について」
*楠田雅紀、北野 明、波片正次、南里昌和、森岡龍真、小山 浩、大橋真一、小澤龍馬、西 秀紘（徳島地方気象台）
- 11 「日本周辺海域における風力エネルギー貯存量の推定」
*片岡 顕（神戸大学大学院自然科学研究科）、大澤輝夫（神戸大学海事科学部）
- 12 「突風率の経年変化」
*石川雅章、松村 哲（大阪管区気象台）
- 13 「昭和 53 年（1978）伊豆島近海地震の前兆現象」
*薩谷泰資（イオン情報研究所）
- 休憩（15:10～15:30）-----
- セッション III（15:30～17:10）
- 14 「最近の伊勢湾の冷たい海洋構造」
*関根義彦、平井悠史、串沙智子（三重大学生物資源学部）
- 15 「親潮中層水の相模湾と伊豆海嶺のゲート領域への分岐」
*池防太久磨、関根義彦（三重大学生物資源学部）
- 16 「最近の黒潮流路の変動に関する数値実験」

*下畑健一、関根義彦（三重大学生物資源学部）

鶴甲2丁目止まり行「神大文理農学部前」下車）

- 17 「気象庁海洋気象観測船による東経137度線の長期観測結果（化学成分）について」

*梅田振一郎, 内野 修, 延与 和敬, 齊藤 一浩（神戸海洋気象台）

- 18 「曳航式CTDによる西部太平洋赤道域の海洋表層構造の観測（2005年と2006年の共通点と違い）」

*小島 豊、永井千春、有吉正幸、東 吉一、延与和敬、矢頭秀幸、伊藤 涉（神戸海洋気象台）、中野俊也、長谷川拓也、蒲地政文（気象研究所）

- 19 「雪氷面積に注目した十年スケールのグローバルな大気海洋変動」

*平井悠史、関根義彦（三重大学生物資源学部）

日本気象学会関西支部長挨拶 小佐野慎悟（大阪管区気象台）

懇親会： 終了後(17:30~19:30)に例年通りの懇親会を行う予定です。詳細は当日会場にてアナウンスします。

交通：

○JR「六甲道」駅、阪急電車「六甲」駅、阪神電車「御影」駅より神戸市バス36系統(鶴甲団地行、

